

# 競技注意事項

## 1. 規則

競技は2019年度日本陸上競技連盟規則、及び本大会要項、申し合わせ事項に準ずる。

ただし、フィールド競技のオープン種目については、試技数を3回とする。

## 2. 練習

①練習は、危険防止に十分注意して行う。

②競技中の練習場所として雨天走路を開放する。ただし、競技開始10分前までは競技場を開放する。

③跳躍種目・投てき種目の練習は、招集完了後、役員の指示により本競技場で行う。

役員の指示以外の練習は危険防止のため一切禁止する。

## 3. 招集

①招集は競技者係の指示に従い、本人が受けること。

②招集時間および完了時間は下記の通りとする。

種目		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド 競技	走高跳・走幅跳・砲丸投	競技開始50分前	競技開始40分前
	棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

③招集完了時刻(移動開始時刻)に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権とみなして処理する。

④競技者は招集開始時刻から、招集所において最終確認を受ける。その際、ナンバーカード、競技用靴、衣類、持ち物等の点検を受け、そのまま待機し、招集完了時刻に移動開始する。

⑤トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。(リレー競技は第4走者のみ)

⑥出場する種目を棄権する場合、招集開始時刻までに、競技者係(招集所)に申し出ること。

## 4. 入退場

①入場については競技者係の指示に従う。

②トラック競技はレース終了後、腰ナンバーカードを係に渡し、フィニッシュライン右側の第一通用門より出てから各校の場所へ戻る。(その際、本部前は通過しない事。)

③フィールド競技は、終了後競技役員の指示で、最寄りの出口から退場する。

## 5. ナンバーカード

ナンバーカードは胸(腹ではない)と背に、しわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。ただし、走高跳・棒高跳・走幅跳については1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

## 6. フィールド競技について

①走高跳・棒高跳を除くフィールド競技は3回の試技とする。

②走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、審判長の指示によって変更する場合もある。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	
男子走高跳	1m30/50	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以降
女子走高跳	1m10/30	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m33	1m36	1m39	3cmずつ
男子棒高跳	2m/3m	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	以降
女子棒高跳	2m/2m50	1m50	1m70	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	10cmずつ

③他の種目を兼ねて出場する競技者は、競技者係および当該種目審判員主任に申し出をし、その指示に従うこと。ラウンド中の試技順の変更は当該種目審判員主任の指示によるが、次のラウンドに移った場合は、パス扱いとする。申し出を怠った競技者は棄権とみなす。

④棒高跳支柱移動申告について、競技者は競技開始30分前までに当該審判員に希望する支柱の位置申告をすること。もし、競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。

## 7. 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合、審判長がレース中の競技者を中止させることがある。

## 8. リレー競技について(リレーオーダー用紙は招集所に準備)

- ①リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙を2部作成し、競技開始60分前までに招集所に提出すること。
- ②リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- ③リレーの招集は4人そろって行うこと。

## 9. 用器具

- ①棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- ②スパイクの長さは、走高跳は12mm、その他は9mm以下とする。

## 10. 抗議

日本陸上競技連盟規則146条により申し立てを行う。

## 11. その他

- ①プログラム記載事項に訂正がある場合には、8:30までに訂正内容を持って本部まで申し出ること。
- ②記録発表は原則アナウンスで行わず、競技場正面入り口外の掲示スペースにて掲示する。  
次ラウンドへの進出の可否は、記録掲示によって各自確認をすること。
- ③セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は該当レーンに沿って走り抜けること。
- ④ホームストレート側(本部前からフィニッシュライン付近まで)を通行しないこと。
- ⑤競技場内外のアスファルト部分へはスパイクで入らないこと。
- ⑥競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者側で行うが、以後の責任は負わない。
- ⑦更衣室では更衣のみを行い、私物等を置かないこと。
- ⑧応援のために競技場内の芝生に入ったり、スタート後方、フィニッシュ後方に出たりしないこと。
- ⑨各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意すること。主催者で預かった物品については一時本部で保管するが、その他の物品の盗難や紛失については、一切の責任を負わない。
- ⑩ゴミについては必ず各自で持ち帰ること。
- ⑪競技場外(植え込み等)でのテント張りは厳禁する。
- ⑫テントやタープはロープなどを使って手すりなどに固定し、強風で飛ばないようにすること。  
横断幕やのぼりの設置は、スタンド上部の手すりおよびスタンド両脇の手すりのみとし、に確実に固定すること。また、設置は開門時間以降に、各校ゆずり合って行うこと。
- ⑬投擲物(メディシンボール等含む)の持ち込みは厳禁とする。
- ⑭競技者が号砲前にグラウンド(地面)及びフットプレートから手や足を離した場合、不正スタート(フライング)となり、当競技者は失格となる。